

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 21 日
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	4	政策名	心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成	施策主管課	教育委員会 文化財課
	施策No.	20	施策名	歴史・伝統文化の振興	施策主管課長名	千野 千代美
施策関連課名						

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 市内の指定・登録文化財、埋蔵文化財、その他の文化財	市民が、ふるさとの歴史を知り、誇りに思い、市内の歴史的資源を、新たな地域文化創造の糧としてもらえるようになる。 市民共有の財産である市内の歴史的資源を、良好な形で次代へ伝える。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880	71,602	
	イ 指定・登録文化財、埋蔵文化財	件	見込み値			633	633	633	633	633
			実績値		633	633	636	635	638	
	ウ		見込み値							
			実績値							
② まちづくり指標	A 市内の文化財や伝統芸能の保護や活用に関する満足度	%	目標値			34.4	34.8	35.2	35.6	36.0
			実績値	34.0	35.9	33.2	38.8	35.7	34.5	
	B 市内の歴史的資源を、守り伝えたいと回答した市民の割合	%	目標値			80.4	80.8	81.2	81.6	82.0
			実績値	79.8	83.9	79.2	79.5	81.6	78.4	
	C 指定文化財等がき損・破壊・盗難等がなく、適切に維持された件数	件	目標値			633	633	633	633	633
			実績値	633	633	633	636	635	638	
	D		目標値							
			実績値							
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方		<p>A: 文化財の保護に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『文化財や伝統芸能の保護や継承活動について、満足していますか』において、「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合】</p> <p>B: 歴史的・文化的資産への市民の関心を示す。 【市民アンケートの『市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか』において、「思う」「まあまあ思う」と回答した人の割合】</p> <p>C: 文化財等の保存に関する成果を示す。 【市内に所在する指定文化財及び埋蔵文化財の件数】</p>								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		<p>A: 現況値から5年間で約2%の増加を見込み設定 B: 地域の文化財についての周知活動を推進し5年間で約2%の増加を見込み設定 C: 指定文化財等の全てが適切に維持されていることを目標値とする</p>								

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
関連事業本数	23	24	25	25	24	22	19
関連事業予算額(単位:千円)	40,969	51,674	54,238	46,255	61,620	267,484	48,667
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	10,084	14,617	11,907	9,641	9,155	7,452
	地方債	0	0	0	0	8,000	205,200
	その他	17,527	19,116	19,767	20,519	23,779	25,862
	一般財源	13,358	17,941	22,564	16,095	20,686	29,168

4 評価結果(施策の有効性評価)

<p>① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>※左記の理由</p> <p>市民アンケートにおいて、数値的には、目標値をわずかに下回ったが、そのマイナス幅は5%以内に収まる。状況はここ数年横ばいといえる。一方で、指定文化財等は良好に保全され、ふるさと〇〇博物館事業の進展もあり、保護すべき文化財は、その数を増している(平成30年度は登録有形文化財が3件増加)。</p>
<p>② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>※左記の理由</p> <p>評価の実績値については、ほぼ横ばいの状態である。しかし一方で、評価の指標とはなっていないが、市民アンケートにおける「過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがありますか」は、前年比19.2%の伸びを示しており、平成15年度から実施している「ふるさと教育」の推進や平成29年度から本格実施となった「ふるさと〇〇博物館」事業などの継続的な取り組みに対し、効果が表れつつある。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>「ふるさと〇〇博物館」をはじめとする文化財の調査及び教育普及啓発事業、啓発に関わる取り組みについては、国や県自治体等からの講演依頼、視察等が多くあることから、その活動手法、活動量については、他の自治体に比して高い実績といえる。一方で、国指定史跡を有する県内の市の中で、その整備事業に(いまだ計画段階で)着手・完了していない市は、本市のみであり、現在の整備基本計画に基づき、国史跡「御勅使川旧堤防」の整備を進め、本市固有の歴史文化をわかりやすく市の内外に提示する必要がある。</p>

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
<p>ふるさと〇〇博物館、小中学校における「ふるさと教育」、ふるさと文化伝承館や安藤家住宅における歴史文化情報の発信、子宝の女神「ラヴィ」の活用等、色々なアプローチを試み、その活動量についても他の自治体を超える水準を維持していると考えられる。しかし、一方で市民アンケートに見られる指標の実績は、ここ数年横ばいを続けている。</p>	<p>施策の大きな目的は、何か目に見えるモノを作るのではなく、あくまで市民のふるさとを思う「心の醸成」であることから、成果の向上には、一定の時間が必要と考えられる。従って、ふるさと〇〇博物館推進事業や国指定史跡「御勅使川旧堤防」の整備など、現在進められている各事業を、定められた基本方針や計画等に基づきながら粘り強く継続していく。また、必要に応じ逐次見直しを行い成果向上を目指していく。</p>